

## 要旨

本骨子は、第3次あいち地震対策アクションプラン(以下「第3次アクションプラン」という。)の要点と策定にあたっての考え方を明らかにするものである。

第3次アクションプランでは、発生頻度の高い地震・津波に対してはハード対策を中心とし、最大クラスの地震・津波に対しては、ハード対策に過度に依存することなく、避難等を軸にソフト対策とハード対策を効果的に組み合わせることを基本方針の前提とし、以下のとおり対策を構成する。

## 1 アクションプラン策定の背景

- 東日本大震災の教訓を活かす
  - 災害の巨大化、広域化、長期化、複合化を考慮
  - 複数の地震を意識し「想定外」にも対応
  - 防災対策に加え、減災対策の実施
  - ハード対策とソフト対策の効果的な組合せ
  - 短期目標以外に、中長期目標も設定
- 前提・考慮すべき事項
  - 第2次アクションプランとの連続性
  - 国及び県が行う被害予測調査、対策のとりまとめ結果
  - 国の地震対策大綱及び地震防災戦略との整合性
  - 本県の地域特性と災害リスクの特徴
  - 愛知県地震対策有識者懇談会からの提言

## 2 基本方針

- 未来のあいちを見据える
  - 基幹的産業の集積／事業継続性
  - 人口減少・高齢社会／新しい公共
  - 「公助」「共助」「自助」／地域防災力
  - 防災の主流化・日常化／持続的・継続的な取り組み
- 防災・減災対策の着実な推進

## 3 想定地震・津波及び想定被害

- 想定地震・津波
  - 最大クラスの地震・津波
  - 対策目標クラスの地震・津波
- 想定被害
  - 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査における想定被害

## 4 減災目標

- 国が平成25年度中に策定予定の南海トラフ巨大地震に対する地震対策大綱及び地震防災戦略の考え方を踏まえて設定

## 5 計画期間

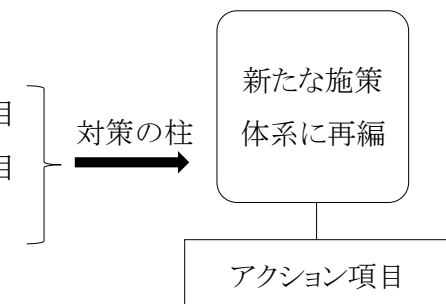
- 国が平成25年度中に策定予定の南海トラフ巨大地震に対する地震対策大綱及び地震防災戦略の考え方を踏まえて設定

## 6 施策体系及び重点項目

- 対策の柱
  1. 命を守る
  2. 生活を守る
  3. 社会機能を守る
  4. 迅速な復旧・復興を目指す

### ■ 対策の考え方の構成

- 第2次アクションプランからの継続を検討する項目
- 第2次アクションプランからの拡充を検討する項目
- 新たな取組項目



## 7 目標達成のためのアクション項目及び事業量

- 目標達成のためのアクション項目及び事業量を示し、対策による減災効果を明示

## 8 推進体制・普及啓発体制

- アクションプランの発展的な更新
  - フォローアップ、進行管理の仕組みの確立
  - 有識者懇談会による毎年のレビュー
  - PDCAサイクルの導入
- 防災協働社会の推進

## 9 防災・減災対策の経済的な効果

- アクションプランの取組による経済的な効果

※ なお、第3次アクションプランは、愛知県地震対策会議(会長:知事)において決定する。